



開演前に挨拶をする組合長

農の世界を映像化 ～「百姓の百の声」上映～

当JAでは第38回農業ジャーナリスト賞の受賞作品である「百姓の百の声」を1月30日、自主上映し、女性部員や青年部員、組合員など約160名が鑑賞しました。

同作品は、全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を、美しい映像と丁寧なインタビューで描かれたドキュメンタリー映画。農作業をしながら農家は何と格闘し、何を考えているのかなど、農家以外の方にとっても、近いようで遠い農業の世界を感じさせてくれるような作品でした。



青果物25億円販売達成へ取り組みを協議



花アレンジ楽しもう ～フラワーアレンジメント講座～

地域の一般向けにフラワーアレンジメント講座が12月26日、本店で開催され、管内から16名が参加し花アレンジを楽しみました。

講師にユー花のしろの西村勇一さんを招き、スターチス、オオギク、カーネーション、若松、センシヨウなど正月をイメージした花を使い、正月用の飾り方を学びました。完成した作品は、個性あふれる作品に仕上がり、各自がそれぞれ家に持ち帰り、華やかに飾りました。



花のアレンジ方法を熱心に聞く参加者

青果物25億円販売達成へ～令和6年度に向け協議～

あきた白神青果物25億円販売達成プロジェクトチーム会議が、12月25日開催されました。

会議では主要品目の販売実績と取り組み状況を振り返りながら、次年度に向けた新たな取り組みや、今後の対応について協議を行いました。

令和5年度は大雨と猛暑による農作物被害を受け、管内では米穀類の等級低下や白神ねぎ、白神みょうがの被害、白神きやべつこの生育停滞など、幅広い作物への影響があったことが報告されました。

令和6年度に向けては昨年、被害を受け軽減できた生産者の栽培技術と、各実証圃の情報などや異常気象に対応した技術指導を生産者らにつなぎ、更なる産地拡大に取組むことを確認しました。

また、各種白神青果物の知名度向上に向けた「白神青果物旬カレンダー」の制作や、各部会公式LINEアカウントの開設についても協議をすすめました。



「長生き音頭」に合わせ歌と踊りを披露

新年お楽しみ会開催 ～いなほの里で笑顔～

デイサービスセンター「いなほの里」は1月9日、新年お楽しみ会を開催しました。

同施設職員が「ズンドコ節」や「長生き音頭」などの歌にあわせて踊りを披露し、施設内は利用者の元気な笑い声と笑顔があふれていました。

いなほの里では年間を通して様々な行事・イベントを行っており、今後はいなほの里が発行している「いなほだより」でもイベント内容を紹介してまいります。「いなほだより」は「当JAのホームページ」からもご覧いただけます。



山うどの出荷規格を確認する部会員

「白神山うど」収穫盛期へ～品質・規格を確認～

JAあきた白神の春到来を告げる「白神山うど」の収穫盛期を目前に、白神山うど部会は規格や出荷形態を確認するため、目揃い会を1月19日開催しました。

昨年の異常高温・少雨の影響で生育不良により収量は減少。収穫時期も遅れたが、品質的には秀品が出荷されていることから、目揃い会では全長は35cm以上とし石附の無いもの・葉が極端に長いもの・軟白部の緑化等には留意し、収量の減少を単価でカバー出来るよう、一層の秀品の出荷に向けて統一を図りました。

日本店が解体・撤去 ～56年の歴史に幕～

当JAの旧本店がこのほど解体・撤去されました。旧本店は昭和42年に建設。新本店の移転に伴い、売却していただきましたが、老朽化に伴い解体・撤去され、長年親しまれてきた旧本店の歴史に幕が下ろされました。



解体終了後の跡地



解体工事が行われた旧本店

より良い職場づくりへ～コンプラ研修会開催～

JAは、組合員・地域の信頼に基づき総合事業を営み、地域農業・社会に貢献する役割を担っており、「高いモラルやコンプライアンス」が必要なことから、当JAでは介護職を除く、全職員を対象としたコンプライアンス研修会を2月1日開催しました。

研修会では「職場におけるハラスメント対策について」と題し、秋田産業保健総合支援センターの関雅幸氏を講師に招き、コンプライアンス意識の統一を図る講義を受け、より良い職場づくりに取り組むことを確認しました。



講師の話熱心に聴く職員